



▲土山駅前にもようやく緑の潤い空間が

土山駅南地区の整備は

答弁 = 緑の拠点として公園新設



小原 健一

- ① 土山駅南アルペン跡地に新設する「はりまガーデンプラザ」の整備の概要と目的は何か。
- ② 暫定的に整地をして住民に開放しているイベント広場だが、水はけが悪いので改良する必要があるのでは。
- ③ 土山駅南ロータリー周辺の歩道では、危険な状態と見受けられるが、対策を考えているか。
- ④ 野添であい公園に健康遊具を設置する理由は。

答弁 清水町長・木村理事

- ① 土山駅南地区に活動エリアとリフレッシュエリアを確保する目的で、緑の拠点として整備する。面積は約1700㎡で、芝生広場や休憩

役場のITの充実を

- ① 新規職員の採用試験において、年齢制限を引き上げるべきでは。
- ② 中途採用試験で専門職の職員を採用して、年

- 施設を予定している。
- ② 底地の水はけが悪いことから、雨が続くと水溜りができていた。改善するために周囲に溝を掘り、パイプを埋め、雨水を排水している。
- ③ 朝の混雑は、踏切が閉まり待機する自転車が多い場合に発生するもので、現在これといった対策は見つかっていない。
- ④ 心身の健康づくりに高齢者を支援するためである。

答弁 大北統括 今後の検討課題である

- ① 高校と大学の新卒者の就職率も低い状況であり、現在は考えていない。
- ② 今後十年間は職員の定年退職が多く発生する時期でもあり、将来的には考えなければならぬ。
- ③ 播磨町では、キャリアアップに繋がるような業務量もなく、受け皿がない。今後は、実習生の受け入れという形で協力を考えている。



▲目的税である都市計画税は借金の返済に充当

都市計画税の減額を

答弁 = 上限税率 0.3% は継続する



緑生会代表

福原 隆泰

- 都市計画税は「都市計画事業」などに充てるために課せられる目的税。安全安心のまちづくりとして、国・県の補助も手厚い地籍調査事業（県下で未着手は播磨町のみ）を活用し環境整備を図るべき。
- ① 町内の狭あい道路の延長を把握しているのか。
- ② 課題解決のため急ぐべき都市基盤整備事業は、課税目的をなぜ住民に知らせないのか。
- ③ 課税目的をなぜ住民に知らせないのか。
- ④ 上限税率の適用の妥当性は。減税の考えは。

答弁 清水町長

- ① 計測していない。
- ② 目下、浜幹線整備事業に傾注している。
- ③ 今後、指摘の内容につ

企業景気の影響は

- ④ 下水道事業費や借金返済のため税率の据え置きが必要と考える。
- ① 課税客体を的確に把握し徴収確保を図る。
- ② 固定資産税は平成20年度見込み額で29億1千万円のうち10億4千万円（35%）、法人町民税は7億9千万円のうち

答弁 清水町長 納税者把握と徴収確保

- ① 課税客体を的確に把握し徴収確保を図る。
- ② 固定資産税は平成20年度見込み額で29億1千万円のうち10億4千万円（35%）、法人町民税は7億9千万円のうち

答弁 清水町長 法令違反はない

- ① 会計事務以外の事務に関わることを制約していないので問題はない。
- ② 処理の審査は、書面による形式審査のみ。予算の裏付けがあり適正な執行と判断している。

会計処理の法令遵守は

- 3億5千万円（44%）。
- 不当な支払いなど会計処理で法令遵守に問題はないか。会計管理者の責務と合わせて問う。
- ① 理事職との兼務は会計機関と独立させる自治法に違反するのでは。
- ② 過年度に完了した弁護士費用の委託料支払いは違法ではないのか。